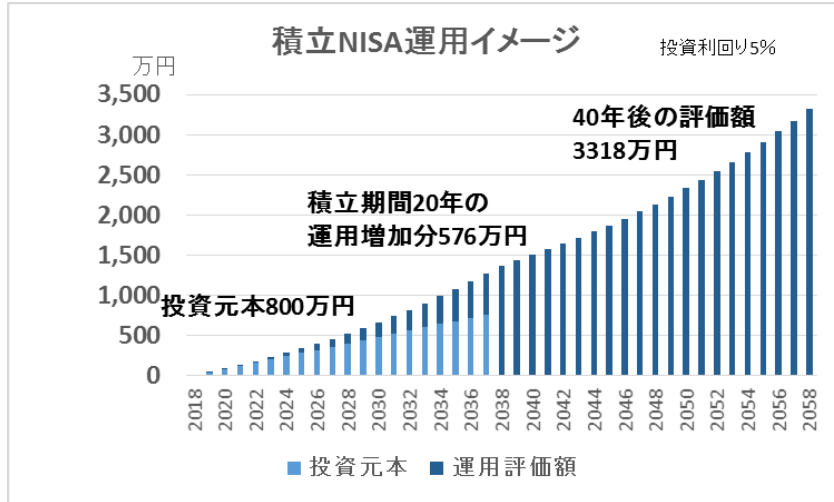


### ATTENTION

## NISAやiDeCo(個人型確定拠出年金)は大いに活用しよう！



今後年金の支給開始が先延ばしになったり、支給減が予想されたりすることから、国は、実働世代の資産形成促進に熱心です。たとえば、このグラフで示した積立NISA。20年間、年40万円積み立てられ、20年非課税の制度です。この制度をフルに使い、年率5%で800万円を積立運用すると、このように積立期間の20年間で増えていきます。20年後には800万円の元本が576万円増え、課税分117万円が非課税になるのです。さらにこれだけでは終わりません。最後に積み立てた分はそこから20年間非課税ですから、最大40年間非課税の恩恵を受けることができるのです。私の試算ではこの積立NISAの恩恵をフルに受けると年率5%の運用で投資元本800万円が3318万円になります。一方最初から課税積立を行えば2750万円にとどまり、その差は568万円に膨らみます。また現行NISA制度は始まって4年が経過しましたが、その間フルにNISA制度を活用している当社のお客様には、元本440万円が時価500万円を越え、年率7.8%の非課税の恩恵を受けているという方もいます。非課税の優遇制度は「使わない手はない」のです。

### OPINION

## 日本もフィデューシャリー・デューティの法制化を

米国で、老後資金の投資アドバイスに関して、金融機関やFPに「顧客利益を最優先する義務」(フィデューシャリー・デューティ)を課す法律が、6月施行されました。米国では、一般投資家がこのフィデューシャリー・デューティについて意識し、取引手数料によらないで、フィー(助言料)ベースのアドバイスを求めるようになってきているとのことです。また業界でも、取引手数料によらないで、フィーによる継続収入を得ることにより、安定したビジネス・モデルを確立できるとする見方が広がってきています。あるコンサルティング会社によれば、証券会社はたとえ準備が整っていなくても、フィーベースの方向に踏み出すべきとしています。この法律により、業界の流れが大きく、顧客利益最優先に舵を切ったといえるでしょう。

一方で、日本も金融庁が盛んにフィデューシャリー・デューティを唱えています。果たして、金融業界に浸透していくでしょうか。金融庁のそれは行政指針であり、法的拘束力があるものではありません。業者に、言い逃れの余地を残すものです。オランダ、豪州、英国ではFPが金融商品の販売手数料の一部を収入にすることを法律で禁止しました。日本も、フィデューシャリー・デューティを確固たるものにするため、ぜひ法制化が求められるところです。最終的な受益者である個人も、もっと法制化に向けた声を上げるべきでしょう。

### MARKET

	(6月末)	(5月末比)
日経平均	20,033.43円	+382.86円 (+1.9%)
NYダウ	21,349.63ドル	+340.98ドル (+1.6%)
米ドル	112.44円	+1.64円 (+1.5%)

### 今月の言葉:

財を生ずるに大道(たいどう)あり。  
-財を生ずるにはそれなりの立派な道がある。(大学・伝10章)

## 若い人がお金持ちになる方法

こう書くと、なにやら怪しい金儲けの話のように聞こえますが、決してそうではありません。また手っ取り早くお金を稼ぐ方法でもありません。ここで話することは、お金持ちになる黄金法則といってもよいでしょう。

若い人に共通なのは、お金はあまり持っていないということです。では何を持っているか。大人に比べて、余りあるものを持っています。それは時間です。60歳の人はそれから働ける時間はせいぜい5年程度でしょうが、25歳の人は実に40年間働けます。そして、その間、日々収入が入ってきます。これは、これから長い間収入を生み出す資本をその人自身が持っているということです。専門用語でいいますと、若い人には、財産的資本(Financial Capital)はないが、人的資本(Human Capital)があるということになります。さて、そろそろお分かりかと思いますが、若い人がお金持ちになる方法とは、この人的資本をいかに生かすかということにあるのです。

お金をつくる方法とは、うまい話や手っ取り早く儲ける方法ではなく、地道に決めたことを続けることなのです。つまり毎月の給料やボーナスから一定額を積立て、収入が増えるにつれ、その積立額を増やして、それをずっと続けるのです。これが人的資本を生かすということなのです。

ところが若い人の問題点は、まだ老後は何十年も先のだから、いまは付き合いとか衣食、レジャー、車などに

使いたいと考え、収入のほとんどをこれらの出費に回したり、はてはカードローンなどに手を出したりして、資産がプラスというより、ネット負債になっていることも珍しくないということです。そして家庭を持つと、住宅購入や教育のために費用がかさむといって、お金を積立には回さず、ほとんどネットの資産はないという状況で、40代に突入するケースは大変多いでしょう。

お金持ちになる方法とは、現在の収入が多いということではなく、いかに早くから、得た収入から支出を引いた額をしっかりと積立に回していくという、よい習慣を身に付けるということです。華々しく金儲けする方法ではありません。

ここで本多静六のこぼれを紹介しましょう。

「あらゆる収入が入った時、天引き四分の1貯金をしてしまう。さらに臨時収入は全額貯金する。貯金は続けることが肝腎で、私たちも、5年、10年とこの四分の1貯金をがんばることにより、生活も楽になり、貯金もでき、さらにこの利殖法を株式、山林土地に拡大することによって、いつしか大学俸給より利子収入の方が多くなった。

われながら驚かされるまでの資産家になって、淀橋税務署管内のナンバーワンにまで出世したのは、わずか月14円50銭の天引き預金から始まった結果である。」

## SEMINAR

### 大幅刷新！びとうファイナンシャルサービス代表、尾藤峰男が教える『こうすればお金の運用で必ず成功する！セミナー』

大切なお金の運用で、本当のことを知るのは大変むずかしいです。預金金利はゼロ、国の年金だけでは足りず、金融機関も利益追求に走っていて、自分自身でしっかりお金を運用する必要がますます高まっています。

このセミナーで、他では絶対に聞けない「お金の運用で必ず成功する方法」を学びましょう。40年近い投資経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持ち、金融機関とのしがらみが全くない資産運用アドバイザー、尾藤峰男だから語れる「お金の運用で必ず成功する方法」を伝授します！ぜひお越しください！



びとうファイナンシャルサービス  
代表 尾藤 峰男

日時： 2017年7月29日(土)15:00～17:00

場所： 東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル2F リファレンス会議室

JR有楽町駅 中央西口／日比谷口より1分

東京メトロ有楽町線有楽町駅 D2出口連絡

東京メトロ日比谷線・千代田線日比谷駅 A6出口より3分

都営三田線日比谷駅 B1またはB2出口より3分

<http://tokyo.re-rental.com/yurakucho/access/>

参加費：1,000円(当日支払い)

メールまたは電話にて「7月29日セミナー参加希望」として、ご氏名、ご年齢、ご連絡先をお知らせください。  
Eメール: [info@bfsc.jp](mailto:info@bfsc.jp) Tel: 03-6721-8386

- どうしたら株式投資で最も成功するか
- 本当に正しいお金の運用法とは
- もっとも効率的にお金を増やす方法とは
- 国際分散投資はどうやったらいいか
- よい金融商品の選び方
- 証券会社や銀行にだまされないために
- お金に困らない老後の安心を確保するために
- NISAやiDeCo(個人型確定拠出年金)の活用法
- 安心してお金の相談をできる場所はどこか

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス株式会社

代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386

携帯：070-5567-3311

FAX: 050-3156-1072

電子メール: [info@bfsc.jp](mailto:info@bfsc.jp)